

提案議題Ⅱ 一般計量士確保の実態と今後の対策について（集計結果）

順位	都県名	1 計量士数・年齢構成	2 計量士確保の実態	3 計量士育成実績	4 計量士確保要因	5 今後の対策
1	千葉県計量協会	非常勤 11名 65歳以上 11人 <b>高齢化率 100%</b>				現状及び今後とも計量士の確保・育成については考えていない。
2	新潟県計量協会	常勤 2名 非常勤 9名 65歳未満 2名 65歳以上 8名 65歳未満 1名 <b>高齢化率 73%</b>	H17～H31 17名 県OB 7名 民間OB 8名 自営計量士 2名	H22～若年者1名雇用し 計量研修センターの一般計量教習を受講し資格取得 H29～人材育成積立預金開始	計量士の高齢化に伴い補充	県OB、民間OBから計量士を確保してゆく。
3	神奈川県計量協会	常勤 3名 常勤計量教習修了者 1名 非常勤 8名 65歳未満 3名 65歳未満 1名 65歳以上 8名 <b>高齢化率 67%</b>	H17～ 17名 県・市のOB 民間OB	毎年、計量教習用の予算を組み、必要に応じ産総研の計量教習を受講 H19、H21、H22、H26に受講	・指定定期検査機関の増加 H17～県(指定計量証明検査機関含む) H19～相模原市、横須賀市、平塚市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市 H20～川崎市	・常勤計量士は問題ない ・非常勤計量士の確保が難しいが特別対策を講じてない。
4	山梨県計量協会	常勤 1名 非常勤 4名 65歳以上 1名 65歳以上 2名 65歳未満 2名 <b>高齢化率 60%</b>	H22～H27 5名	該当なし	H22. 2～県の定期検査受託 今後は、計量士有資格者補充及び計量協会会員の拡充	なし 紹介、ホームページ、求人等による募集検討
5	長野県計量協会	非常勤 12名 個人計量士 はかり事業計量士 65歳以上 7名 65歳未満 5名 <b>高齢化率 58%</b>	H24～H28 4名 県OB 1名 市OB 1名 民間OB 2名	該当なし	高齢化に伴う補充	高齢化に伴う補充を1～2年に1名位必要であるが、現在のところ何とか確保できている。将来的に計量士確保の不安があり、検査計量士の事前登録制度の運用が協会内から提案されている。
6	茨城県計量協会	常勤 2名 非常勤 5名 65歳以上 1名 65歳未満 1名 65歳以上 3名 65歳未満 2名 <b>高齢化率 57%</b>	H21～H31 県市産総研OB 36名 民間 28名 県職員派遣 1名	H22. 10～計量研修センターの一般計量教習3ヶ月へ派遣したが、平成24年2月に体調不良により退職（21歳女子）	令和2. 4 1名確保 非常勤計量士2名の補充を図るため県と対応策を検討中	若い人材を確保することが、検査業務の安定に必要なとは十分に理解しているが、その人材を将来にわたって財政的な保障ができるかという、困難な面がある。現状の高齢者を中心とした人材活用ということで対応せざるを得ない。
7	山梨県計量士会	非常勤 4名 65歳以上 2名 65歳未満 2名 <b>高齢化率 50%</b>	S47～H29 8名 県OB 4名 民間OB 3名 計量士 1名	該当なし	S47～山梨県、甲府市より電気式はかりの定期検査受託 H13～山梨県委託停止 甲府市は継続	なし
8	群馬県計量協会	常勤 2名 非常勤 6名 65歳未満 2名 65歳以上 4名 65歳未満 2名 <b>高齢化率 50%</b>	H15～H30 11名 県OB 7名 民間OB 4名	H28～育成資金積立開始 H30～1名採用、計量研修センターの一般計量教習を受講し計量士取得	①指定定期検査機関の増加 H31～前橋市 ②高齢化に伴う補充	なし
9	栃木県計量協会	非常勤 13名 65歳以上 5名 65歳未満 8名 <b>高齢化率 38%</b>	S19～H26 県のOB含む	該当なし	高齢化に伴う補充	若手計量士が参入しやすい環境作りや経済環境を整えるのが大切だが協会の財政が乏しく、とても難しい状況ではある。
10	埼玉県計量協会	常勤 1名 非常勤 13名 65歳未満 1名 65歳以上 5名 65歳未満 8名 <b>高齢化率 36%</b>	H14～現在 県職員1名派遣	H29～計量士育成資金を積立開始	非常勤計量士の高齢化	常勤計量士の採用を目指している。
11	東京都計量協会	常勤 10名 非常勤 2名 65歳未満 10名 65歳以上 2名 <b>高齢化率 17%</b>	H10～H24 3名 民間OB 3名	S57年 計量研修センター 卒業生採用 1名 H1年 民間より雇用し、計量研修センターの一般計量教習受講取得 8名 H22年、R1各1名、国家試験合格し計量士取得	高齢化に伴う補充	計量士検査員補助者を状況を見て計量研修センターの一般計量教習を受講させ計量士の資格取得
参考値	東京計量士会	93名 65歳以上 44名 65歳未満 49名 <b>高齢化率 47%</b>	毎年3名程度入会するが、5名程度退会する。	一軸試験機校正課員として、各年1名程度養成している。	ホームページで入会を促進している。	・日計振が把握している未加入計量士の入会促進 ・計量士としての仕事の拡充 ・計量士の度量の向上と仲間の交流
	神奈川県計量士会	56名 65歳以上 21名 65歳未満 35名 <b>高齢化率 38%</b>	過去5年の会員数の推移 H26 73名、H27 73名 H28 69名、H29 64名 H30 58名	自動はかりの計量管理及び検定に関わる研修会を開催。平成30年度2回実施。今年度も実施を計画。	2013年設立の神奈川県計量士会のホームページに計量士会情報として入会の案内を掲載している。	なし